

テレビせとうち開局40周年記念

世界的指揮者と天才ピアニスト
3年ぶりに岡山で共演

東和/ハイシステム Presents

ポーランド国立放送交響楽団

with 角野隼斗 倉敷公演

指揮：マリン・オルツァブ
ピアノ：角野隼斗

バツェヴィチ：弦楽のためのディヴェルティメント

Bacewicz: Divertimento for Strings

ショパン：ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 Op.21 ピアノ：角野隼斗

Chopin: Piano Concerto No.2 in F minor Op.21 [Piano: Hayato Sumino]

ドヴォルザーク：交響曲第7番 ニ短調 Op.70, B.141

Dvořák: Symphony No.7 in D minor Op.70, B.141

倉敷市民会館 9月14日(日) 開場13:00 開演14:00

※未就学児はご遠慮下さい

全席指定 SS：20,000円、S：17,000円、A：14,000円、B：12,000円(税込)

イープラス、チケットぴあ(Pコード：301-886)、ローソンチケット(Lコード：64159)

倉敷市民会館、岡山シンフォニーホール チケットセンター、岡山芸術創造劇場 ボックスオフィス

主催：テレビせとうち40th、特別協賛：東和/ハイシステム

子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

お問い合わせ：テレビせとうち事業コンテンツ部 086-803-7017 (平日10:00~17:00)

二人の歴史はここから始まった

コロナ明け奇跡の日本ツアーで出会った、オルソップ×角野隼斗の原点を体感せよ！

2022年9月ーコロナにあえぎ音楽を渴望していた日本に、疾風のごとく現れたポーランド国立放送響ツアー。それは東欧最高にして幻とされた名楽団の23年ぶりの来日公演でもあり、今や黄金コンビであるオルソップ×角野隼斗の始まりの場所となった。彼らは初共演とは思えぬほど互いを共鳴させ、瞬く間に化学反応を起こし、岡山公演も含めて各地完売の鐘を鳴らしていった。名だたる楽団の音楽監督を歴任してきたマリン・オルソップが、地を揺るがす重低音と清冽な弦の響きを引き出し本場スラブの郷愁を感じさせるドヴォルザーク。そして角野隼斗が奏でるショパンの悩ましく哀愁漂う旋律は忘れられないものとなるだろう。

あの熱狂をふたたび！

ポーランド国立放送交響楽団

1935年ポーランドの大指揮者グジェゴシュ・フィテルベルクによってワルシャワに創設される。1945年に本拠をカトヴィツェに移転、ヤン・クレンツ、カジミエシュ・コルド等同国を代表する名匠が芸術監督を歴任。2023年からはマリン・オルソップが芸術監督兼首席指揮者を務める。これまでに、ルービンシュタイン、ポリニ、アルゲリッチ、バーンスタイン等多くの巨匠が客演、世界中で演奏活動を行っている。膨大な録音歴を持ち、200タイトル以上のCDをユニバーサル・ミュージック、ナクソス等からリリースし仏ディアパソングランプリ・ディスクに選出。2002年カンヌ・クラシック賞、2018年ICMA特別賞受賞。ポーランド共和国公式文化使節。



マリン・オルソップ(指揮)

ニューヨーク生まれ。イェール大学とジュリアード音楽院を卒業後、バーンスタイン、小澤征爾らに学ぶ。1989年タンゲルウッド・ミュージック・センターでクーセヴィツキー賞を受賞し、翌年バーンスタインの招待でPMF音楽祭に参加した。米国主要楽団の音楽監督など多くの要職を務め、女性指揮者の躍進を牽引している。コロラド交響楽団音楽監督、ボーンマス交響楽団首席指揮者、サンパウロ交響楽団首席指揮者などを歴任。なかでも2007年から14年間音楽監督として率いたボルティモア交響楽団での功績が評価され名誉指揮者に就任。現在、ウィーン放送響首席指揮者、ポーランド国立放送響芸術監督兼首席指揮者、フィルハーモニア管首席客演指揮者、フィラデルフィア管首席客演指揮者を務めるなど多忙を極め、そのほかロイヤル・コンサートヘボウ管、パリ管、ロンドン・フィル、シカゴ響などにも定期的に客演している。ディスコグラフィも多岐にわたり、グラミー賞にも多数ノミネートされている。

角野隼斗(ピアノ)

2018年、ピティナ特級グランプリを受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、ボストン・ポップス、N響、読響など、国内外のオーケストラと共演。2025/2026シーズンには、フィラデルフィア管、ロサンゼルスフィル、BBCフィルへの客演が予定されている。2024年、日本武道館で単独公演を開催、同会場におけるピアニストの史上最多動員13,000人を記録。さらに、ロイヤル・アルバート・ホール、ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界各地での公演を成功させ、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューが予定されている。その他にも、コンサートヘボウ、ウィーン・コンツェルトハウス、エルブフィルハーモニー、Kアリーナ横浜での公演も予定している。"Cateen(かていん)"名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数148万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、『Human Universe』をリリース。東京大学総長大賞、レナード・バーンスタイン賞、日本ゴールドディスク大賞「クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞。現在、ニューヨーク在住。
<https://hayatosum.com/>

歯科の未来を明るく照らす

AI・音声 Hi-7 デス



PHS 東和ハイシステム
TOWA HI SYSTEM CO., LTD.

お問い合わせ先

0120-108-588



※Revoriuture(レボリューチャー)は、Revolution(革命・変革)とBrightly(明るく・煌々と)とFuture(未来・将来)を組み合わせた当社世界観の造語です。※当社製品は医療機器に該当しません。